

学校教育の充実を目指して

授業がわかりやすく
楽しい!

生徒たちの声



左から大足さん、平山くん、金川くん

大足心羽さん(中1)
視力が低いのですが、大事なところが電子黒板に大きく映し出されてとても見やすくなりました!

金川瑛空くん(中1)
自分が作ったプリントをみんなに見てもらいたい時、電子黒板に映し出せばいいので、コピーしたり、大きく作り替えたりする必要がなくなりました。コストや時間の削減にも繋がっていると思います。



平山颯大くん(中1)
電子黒板に映し出された教科書に、先生が直接重要なことを書き込んでくれるので、とても理解しやすいです。

取り組み《その二》

学び合い

「学び合い」とはお互いの考えを聴き合い、自分の考えを確かにしたり、深めたりすることです。ペア学習やグループ学習などを目的に応じて取り入れ、授業の中で全員の子どもが自分の意見を話せる環境を整えています。学び合いの基本は聴くことにあります。話し手の言いたいことを尊重して受け取ることを大切にしていきます。

ペア学習やグループ学習のメリット



友達に伝えることで自分の意見を改めて見直すことができる



発表の場が保障される



多様な意見にふれ、考えを深めることができる

本市の最も重要で早急に取り組まなければならない課題のひとつが『人口減対策』です。この課題に取り組むため、平成30年度の施政方針で3つの柱を挙げました。そのひとつが『学校教育の充実』。県内トップレベルの学力を児童生徒に身につけさせることを目標とする、学力向上戦略に基づいた授業づくりや学校規模の適正化、英語力の強化、地域未来塾の充実、小学校の空調機器・照明のLED化など、様々な取り組みを行っています。

取り組み《その一》

ICTを活用した授業

平成27年度から指定校に電子黒板とタブレットを導入しました。今年度中には市内の全小学校に電子黒板を導入し、来年度は各校にタブレットをひとクラスずつ配布する予定です。現在、タブレットにインストールするソフトなどを検討中。ICTを活用した授業は、今スタートラインに立ったばかりです。



いち早くICTに取り組んだ 向原中学校で聞きました!

向原中学校では、平成27年度から電子黒板とタブレットを導入し、ほぼすべての教科でICTを活用した授業に取り組んでいます。電子黒板にデジタル教科書を映し出して、重要なところを大きくして解説したり、理科の実験の動画を見て生徒たちに手順を確認させたり、手元をスクリーンに映し出せる書画カメラを使って生徒の意見や答えをみんなで共有したり、アイデア次第で様々な使い方が可能です。タブレットは現在10台しかありませんが、グループに1台配布して生徒が社会見学に行った時の資料作成などに役立てられています。

数学担当 藤井圭先生

電子黒板は教科書の強調したい部分をしっかり拡大でき、生徒たちにとってとても分かりやすい授業が行えていると思います。タブレットをひとり1台配布できれば、さらに有効的に活用できると感じています。

理科担当 井口美幸先生

理科室に設置された電子黒板で実験をする前に見本の動画を見せています。模範となるような答えを書いている生徒のプリントやノートを書画カメラで映してみせると、全員で共有でき、映された生徒も励みになっているようです。

先生たちの声



左から藤井先生、井口先生、佐伯先生

国語担当 佐伯友美先生

デジタル教科書には音源も入っています。これまで私が範読している時は、生徒の様子に気を配りにくかった部分もありましたが、音源を流している間、生徒の様子をしっかりと見ることができるようになりました。また、関連した資料も付属されていて、事前の準備や授業そのものをスムーズに行うことができます。